

## オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 福岡県

【学校名】 朝倉市立比良松中学校

【テーマ】 I II III IV V

- I オリンピズムの教育的価値
- II おもてなし精神とボランティア
- III パラリンピックと障害者スポーツ
- IV 日本文化と異文化・国際理解
- V スポーツを楽しむ心

### 【実践研究タイトル】

校内イベント（駅伝・持久走大会）を活用したオリ・パラ・ムーブメント

### 【実施学年、部、講座等】

全校生 188名（男子98名・女子90名）

保護者 約100名

### 【目的・ねらい】

オリンピック・パラリンピック・ムーブメントの1年目として、2020年に向けて生徒や地域住民のスポーツやオリンピックへの関心を高めていくことを目的とする。

### 【種類】（当てはまるものに○）

- ・各教科（ ） ・道徳 ・外国語活動 ・総合的な学習の時間 **特別活動**
- ・教科以外での取組（ ）

### 【実践内容等】

#### （実施内容）

#### ◆校内駅伝・持久走大会◆

＜オリンピック・パラリンピック・ムーブメントとして＞

○開会式において 声楽家による国歌斉唱。

○本校出身・朝倉出身のオリンピックメダリスト2名に来ていただき紹介、スターターを依頼。

・ヘルシンキオリンピック 水泳競技 銀メダリスト 後藤 暢 選手

・アテネ・北京オリンピック2大会出場 レスリング 池松 和彦 選手

○本校出身のスポーツ選手・指導者の紹介と応援。

・九州産業高等学校 池田麻美選手（中学時代 全中800m優勝・実業団で活躍）

・三井高等学校 信國文孝監督（アジアグランドマスターズオープン柔道大会準優勝）

○本校出身の高校、大学、一般で活躍しているスポーツ選手の紹介と応援。

・デフリンピック バスケットボール日本代表 江藤愛美選手 他5名

○池松選手は持久走の部に参加、生徒と一緒に走る。

○他の選手は駅伝チームをつくり駅伝の部に参加。

○のぼり旗を設置して、取り組みの周知徹底を図った。





#### (実践上の工夫点、留意点等)

- ・生徒だけでなく保護者も巻き込んでいくため、日程を期末PTAの日の午前中に設定し、保護者が参加しやすい環境を整えた。
- ・保護者を巻き込むことで、生徒だけでなくオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを家庭や地域までの広げていくことをねらった。

#### (成果)

- 実際にオリンピックメダリストや指導者、スポーツで頑張っている先輩を呼んでの大会は、生徒だけでなく地域の保護者にとっても、スポーツを盛り上げていく良いきっかけになった。
- スポーツで頑張っている本校卒業生を紹介する機会ができて、母校への誇りや今後の希望をふくらませていく上で、とてもよかった。

#### 【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

- 今年は話を受けてからの時間がなかったので、実施に苦労したが、来年度は計画的な実践に取り組むことができるように、準備及び計画を進めていく。
- オリンピックとパラリンピックの関心度の差が大きいと感じる。パラリンピックをもっと身近なものにできるような取組について考えていきたい。